



iKAZUCHI (雷)



防火特集

BUSINESS CONTINUITY PLAN

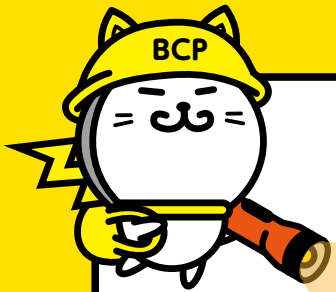


BCP 対策にも役立つ
サービスを紹介!

DIS ダイワボウ情報システム株式会社

※ 本カタログは2024年8月現在の情報で作成されています。なお、都合によりサービスが変更になる場合もあります。ご了承ください。





BCP (事業継続計画) 対策とは？

変革する社会の中で企業を存続せよ

継続的な売り上げと拡大が期待できるサブスクリプションビジネス。しかし、新規顧客・既存顧客との契約の更新管理などの負担は膨大です。販売店の負担を解消するため、ダイワポウ情報システムでは、ライセンス契約管理システム「iKAZUCHI (雷)」を提供しています。

クラウドやサブスクリプション型のサービスが普及する中、企業の喫緊の課題としてはBCP対策があります。

BCPとは、災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画の意で正式名称は「Business Continuity Planning」です。このBCPの目的は自然災害やテロ、システム障害など危機的な状況に遭遇した時に損害を最小限に抑え、重要な業務を継続し早期復旧を図ることにあります。日本においては2011年の東日本大震災をはじめ、頻発する自然災害発生時のビジネス存続がますます重要となってきています。

それでは、リモートワークなど普段の通常業務に加え、緊急事態に備えて変化し続ける社会から企業を守るiKAZUCHI

(雷)の製品を紹介します。

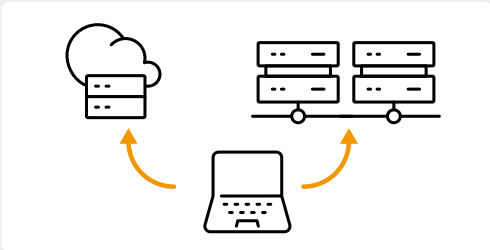
BCP対策の要となる四つのポイント

まずは、企業のBCP対策を講じるためのポイントとなる枠組みを確認しましょう。

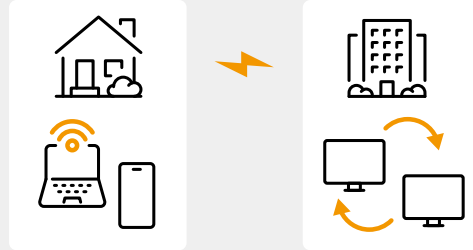
具体策として、下図を見てください。製品の設計資料や顧客情報などのデータ保管とバックアップは、言わずもがな対策が欠かせません。平常時にリモートワークを行っている場合、災害発生時のコミュニケーションツールも必要です。BCP対策システムとして、災害時に一斉メールや安否確認アンケートを配信できるものがあれば、スムーズな報連相を実現します。さらに、情報流出・マルウェア感染、不正侵入に備えて、CSIRT (Computer Security Incident Response Team: シーサート) を設置しておくで安心です。インシデントの原因究明や二次被害防止を目指して行動するCSIRTは、セキュリティ観点のBCP対策に役立ちます。こうした幅広いBCP対策に効果的なiKAZUCHI (雷)内の10製品を次項より紹介していきます。

IT BCPの具体策

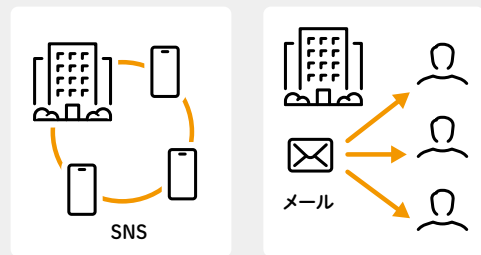
データ保管・バックアップ



代替機やリモートワークを活用



BCP発動時の連絡体制



社内にCSIRTを設置



LINE WORKS | LINE WORKS

LINE 画面でセキュアにビジネスコミュニケーション

災害や緊急事態が発生した際、従業員間のコミュニケーションの維持が必須だ。「LINE WORKS」は、インターネットが利用可能な限り、場所を問わずに安定したメッセージング、ビデオ会議、ファイル共有などを提供する。チャットツールのLINEの機能やUIを継承した操作性を採用。チャットや掲示板機能を活用すれば、多拠点・多店舗のスタッフや、建築現場の現場作業者などが迅速に連絡が取れる。「外部連携」機能を活用すれば、一般顧客はLINE、従業員はLINE WORKSといたように使い分けを実現する。グループでのやりとりでは、情報共有や記録用として活用できる「ノート」、複数人でスケジュール管理を行える「予定」、ファイルの共有／管理が可能な「フォルダ」の機能が情報共有に有効だ。管理者機能でログの管理、遠隔でのアカウントの停止もでき、企業の機密情報の保護と迅速な情報共有を実現する。



◀見慣れたLINEのような画面と機能がすぐにチャットを開始できる。メッセージの既読／未読メンバーも確認可能だ。



サービス料金

スタンダード

月額 5,400円(税抜)



トヨクモ | 安否確認サービス2

非常時でも迅速に安否確認

「安否確認サービス2」は、気象庁の地震／津波／特別警報と連動し、災害発生時の従業員の安否確認を24時間365日行える。安否確認の通知は、登録した複数のメールアドレスやスマートフォン専用アプリ、LINE（オプション）に送信できる。安否状況の回答は、リアルタイムで自動的に集計。集計結果をすぐに確認可能だ。安否確認を終えたら、次の段階として掲示板での災害対策指示などの共有・コメントも行える。また、管理者として同サービスの管理を担当する「システム管理者」や各部署の責任者「部門マネージャー」など、非常時でも適切に役割を割り振れる。「SmartHR」や「Google Workspace」「Microsoft Entra ID」(現: Azure Active Directory)などで人事情報を管理している場合、外部システム連携により、1クリックで容易にユーザーや部署の情報を登録して利用を開始できる。

全体の集計結果												
対象	回答状況	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計
299	258	46	202	41	10	191	95	27	233	20	137	44

部署/地域別の集計結果												
部署	対象	回答状況	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計
▼でもホールディングス株式会社	288	253	46	202	41	10	191	35	27	233	20	137
>でもホールディングス株式会社	244	201	43	156	36	9	145	82	24	184	17	102
>でもホールディングス株式会社	26	26	3	23	2	1	24	0	2	23	3	18
>株式会社DM	18	18	0	17	2	0	15	3	1	18	0	13

ユーザーの回答結果												
名前	部署	回答状況	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計	集計
田中 太郎	営業	回答済み	2018/07/10/08:11:04	成功	失敗	未返信						
山田 花子	営業	回答済み	2018/07/11/08:11:04	成功	失敗	未返信						
鈴木 一郎	営業	回答済み	2018/07/11/08:11:04	成功	失敗	未返信						
佐藤 美咲	営業	回答済み	2018/07/11/08:11:04	成功	失敗	未返信						
渡辺 健太	営業	回答済み	2018/07/11/08:11:04	成功	失敗	未返信						

◀安否確認サービス2での安否確認では、部署や地域レベルで絞り込める。

サービス料金

ライトプラン

50ユーザーまで

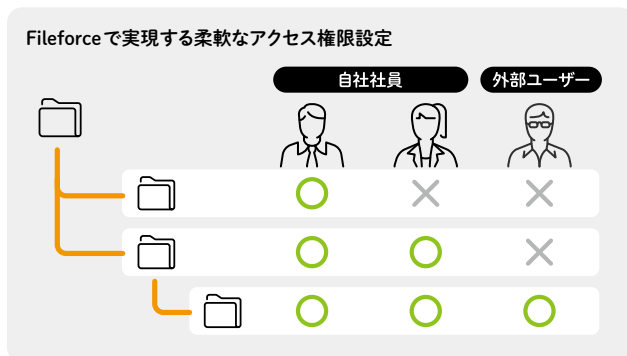
月額 6,800円(税抜)



ファイルフォース | Fileforce

従来の運用をそのままクラウドに移行

「Fileforce」は、エクスプローラーからフォルダー・ファイルにアクセスできるクラウドストレージサービスだ。エクスプローラーと同様に、ドラッグ&ドロップ操作でファイルを保存でき、ダブルクリックでファイルの編集が可能だ。フォルダー・ファイルのアクセス権限を柔軟に設定できるため、必要な人が必要なデータのみアクセス可能な環境を構築する。Fileforceは、AWS (Amazon Web Service) 上に構築されており、冗長構成によって安全に利用できるのに加え、通信時を含めたデータは全て暗号化されるため、安心した利用が可能だ。従来使用していたファイルストレージのアクセス権限やフォルダー構成をそのまま継承できる。従来のポリシーや運用方法を変更せずにクラウドストレージに移行することで、フォルダー・ファイルのアクセスや管理を場所を問わずに行えるようになるのだ。



サービス料金

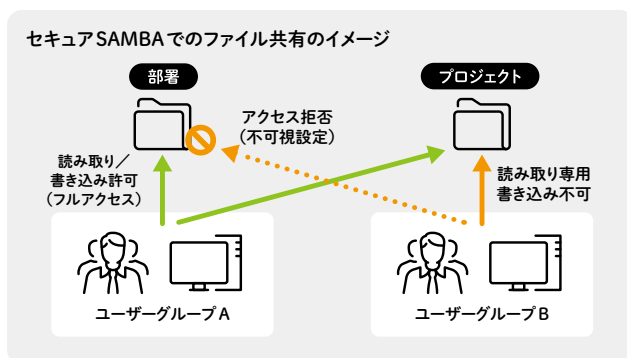
Small Business (10~50ID)

月額	営業相談	
年額	営業相談	

kubell | セキュア SAMBA

多様な端末や環境からファイルにアクセス

「セキュアSAMBA」は、デスクトップアプリだけでなくWebブラウザからも利用可能なオンラインストレージだ。これらに加えて、スマートデバイス用アプリからも使えるので、場所を選ばずに保存しているファイルへアクセスできる。緊急時にどこからでも仕事が継続でき、非常事態の後の迅速な業務復旧・ビジネス継続に寄与する。ファイルの閲覧・アクセスユーザーを限定したり、閲覧や編集に制限をかけたいファイル・フォルダーを接続先/端末ごとに設定したりといった、きめ細やかなアクセス権限の設定が可能だ。社内・社外問わずセキュアな環境でファイル管理ができ、機密データの漏えいを防げる。ユーザー別に各フォルダーとファイルに対する読み込み/書き込み/保存/作成/削除などの操作ログの記録・閲覧も可能で、重大なインシデントが起きた際の原因究明もサポートする。



サービス料金

スモールプラン

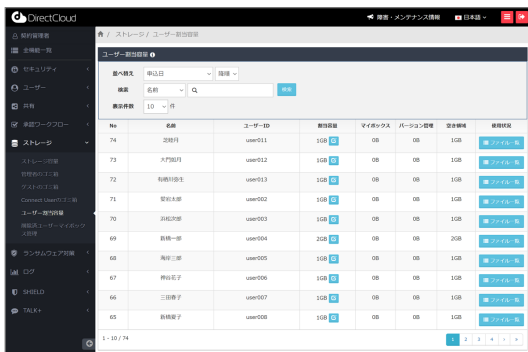
月額	15,000円~(税抜)	
年額	180,000円~(税抜)	

※ 初期費用 15,000円(税抜)

ダイレクトクラウド | DirectCloud

既存データをセキュアに移行

「DirectCloud」は、NAS・ファイルサーバーのデータをセキュアに移行できる法人向けクラウドストレージだ。PPAP廃止やリモートワークなど働き方の変化に対応し、共有リンクでのスムーズかつ安全なデータの受け渡しを実現する。「送信のみ」「受信のみ」に加え、一つのリンクで「送受信」とする設定も可能だ。データの厳格な管理が行える点も魅力だ。従業員やゲストの業務状況に応じて、7種類のアクセスレベルを細やかに設定できる。上位階層にあるフォルダーの権限は継承しないため、アクセス権設定をフレキシブルに変更可能だ。エクスプローラーでクラウド上のファイルにアクセスし、プレビュー・共有リンク・編集・保存・移動・コピー・削除などの操作が行える。ダウンロードせずに編集できるのでPCにデータが残らず、情報漏えい防止とBCP対策に役立てられる。



◀組織単位でのユーザー、ファイル、ストレージの管理に最適で、ユーザーログも詳細で見やすい。

サービス料金

スタンダード

年額

432,000円～(税抜)

※2024年8月1日より



サイボウズ | kintone

業務データをプラットフォーム上に集約

「kintone」は、サンプルアプリからの選択やExcel・CSVファイルの読み込み、ドラッグ&ドロップ操作で、業務アプリを構築できるノーコードアプリケーション作成サービスだ。構築した業務アプリには、文字や画像といった業務データを統一フォーマットで登録できる。業務アプリに登録したデータは一覧から確認したり、集計してグラフ化したりすることも可能だ。kintoneはスマートフォンやタブレット、PCなどマルチデバイスに対応しているため、自然災害によって出社不可となった際も、インターネット環境があれば業務アプリへアクセスでき、業務存続や災害後の対策に役立てられる。例えば、従業員の可否確認状況をアプリで一元管理したり、円グラフなどの集計機能で会社全体の状況を一目で把握したりすることが可能だ。各業務アプリへのコメント機能や、1対1から可能なチャット機能は非常時にも重宝しそうだ。

さまざまな業務データを集約・共有できるkintone



サービス料金

kintone ライトコース
1ユーザー

月額

780円(税抜)

※ 最小発注数 5本

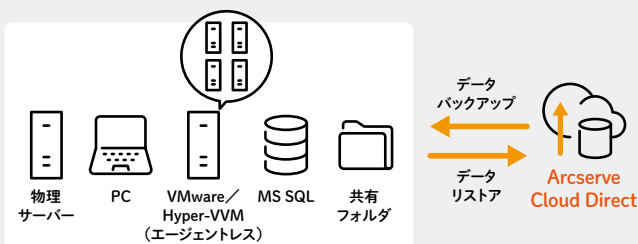


arcserve japan | Arcserve Cloud Direct

ハードウェア不要でクラウドバックアップ

「Arcserve Cloud Direct」は、バックアップに必要なバックアップストレージや復旧機能、管理機能をまとめて提供するクラウドバックアップサービスだ。物理サーバーやPCといった物理環境に加え、仮想環境にあるさまざまなデータをクラウドに直接バックアップ・リストアできる。クラウド上でバックアップを行うため、もちろんバックアップサーバーやストレージの設置は不要だ。データの転送時にはSSLで、データの保管時には標準的な暗号化方式「AES 128」で暗号化し、強固なセキュリティ環境を提供する。ストレージやインスタンスのメンテナンスは全てArcserveが行うため、メンテナンス作業は不要だ。バックアップを管理できる人員が不在でもバックアップを開始可能だ。災害や障害発生時といった有事の際には、バックアップデータから仮想マシンを起動もできるため、即座にビジネスを再開できる。

さまざまなデータをクラウドに直接バックアップ、リストア



サービス料金

月額

営業相談



Acronis | Acronis Cyber Backup Cloud

ランサムウェア攻撃からバックアップデータを保護

「Acronis Cyber Protect Cloud」は、クラウドベースのデータのバックアップや脆弱性診断、パッチマネジメントなどの機能を備えたオールインワン型バックアップ統合ソリューションだ。高度なランサムウェア対策機能「Acronis Active Protection」を備える。Acronis Active ProtectionではAIをベースとした振る舞い検知を行い、ランサムウェアを検知した場合は感染ファイルを自動で復旧する。データのバックアップとセキュリティ対策を一つの管理画面で実行できる。シンプルなUIを備えており、ITリテラシーに関わらず容易に導入できるため、あらゆる企業に最適なセキュリティ対策を提供する。クラウド上でシステムを起動して、任意の場所にシステムをリストアする拡張オプション「Advanced Disaster Recovery」を備える。災害発生時やデータ損失が発生した場合でも、迅速なリカバリー対応が可能だ。



◀高度な暗号化技術を用いることで、物理環境、仮想環境、クラウド環境の全てのデータを保護する。

サービス料金

Acronis Cyber Backup Cloud
1,000GB

月額

営業相談

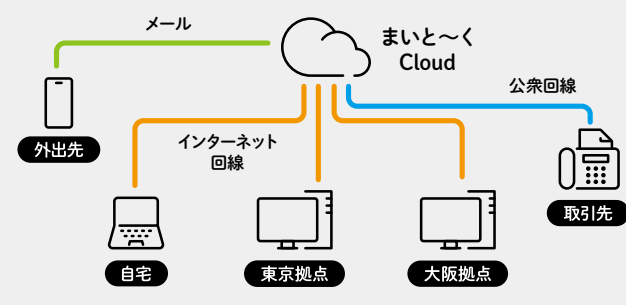


インターコム | まいと〜く Cloud

ファクスのクラウド化でペーパーレスを推進

「まいと〜く Cloud」は、Web ブラウザーからファクスの送受信を一元管理可能なサービスだ。ファクス処理で出社する必要がなくなり、場所を問わずファクス対応が行える。送受信するファクスはクラウド化されるため、ペーパーレスにつながり、印刷代や自席と複合機の間を行き来する手間の削減ができるのだ。自然災害によって紙のファクスが紛失・破損する心配もなくなるので、非常事態が起こっても取引先とのやりとりの記録を消失せずに済む。受信ファクスの受け取り通知をファクスで自動返信する「受信FAXの受け取り通知」機能や、送受信したファクスをフォルダーに自動で振り分ける「FAXの自動振り分け」機能を搭載し、業務負担の軽減にも貢献する。管理者が宛先や内容を確認し、承認フローを挟んでファクス送信を行える「管理者承認」機能も備え、ファクスの誤送信の防止が可能だ。

まいと〜く Cloud のシステム構成イメージ



サービス料金

回線専有型・送受信1,000枚
月額回線基本料込み

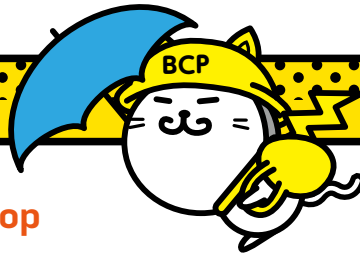
月額

営業相談

回線共有型・送受信1,000枚
月額回線基本料込み

月額

営業相談



リモートアクセス対策、BYOD対策

アップデータ | Shadow Desktop

PCの盗難や紛失による情報漏えいのリスクを低減

「Shadow Desktop」は、アップロードした全てのデータの世代管理を実現する仮想デスクトップソリューションだ。PCに保存されたデータを外部ストレージに自動でアップロードし、一元管理する。ファイルのアップロード先として、「Azure Blob Storage」をはじめとしたオブジェクトストレージや、社内サーバーなどのオンプレミス環境、OneDriveといったクラウドストレージに対応している。アップロードされたデータはPCから削除されるため、PCの盗難・紛失による情報漏えいのリスクを抑えられる。PCにデータが残らない一方で、操作感はPC上にデータがある時と変わらない。PC上に表示されたファイルアイコンをダブルクリックすると、該当ファイルをダウンロードし、ローカルPCにキャッシュされる。キャッシュを用いてデータの読み書きを行うため、インターネット接続が困難な環境でも業務の継続可能だ。

Shadow Desktop概要図



🟢 ローカルにキャッシュあり 🟡 ローカルにキャッシュなし

サービス料金

Shadow Desktop Standard

月額

950円(税抜)

クラウド付 1,900円(税抜)

年額

11,400円(税抜)

クラウド付 22,800円(税抜)

※ 最小発注数 5本

